



協議事項

次期「千葉県 体育・スポーツ 推進計画」 の策定に向けて

令和 7 年 9 月 2 日（火）



1. 第13次計画策定後のスポーツを取り巻く環境の変化

令和4年（2022年）3月
第13次計画 策定

令和5年5月
新型コロナ5類移行

令和6年5月
世界パラ陸上

令和6年7～9月
パリ2024大会

令和7年9月世界陸上
同11月デフリンピック

令和9年（2027年）3月
第14次計画 策定

人口減少、少子高齢化の進展

- 本県の人口は、2020年には628.4万人であったところ、2021年に減少に転じ、2035年607.6万人 → 2050年569万人と推計
⇒ スポーツの担い手（競技者、指導者、ボランティアなど）の減少
- 本県の65歳以上の高齢者人口は、2020年には約170万人、高齢化率27.6%のところ、2050年には35.5%に達すると推計
- 健康寿命の延伸が重要

部活動の地域展開の推進

- 国の方針
2023年度～2025年度 改革推進機関
2026年度～2031年度 改革実行期間
→ 2031年までに、休日における原則全ての部活動の地域展開の実現を目指す

多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の推進

- 令和5年12月「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」制定
- パラスポーツへの関心の高まり
- テレワークや副業など多様な働き方の普及
- 県内在留外国人の増加（令和5年末で約20万人、県人口の約3.3%）

気候の変化

- 猛暑による熱中症のリスクの増加、スポーツ実施への影響の深刻化

スポーツの多様化

- アーバンスポーツ、ユニバーサルスポーツ、バーチャルスポーツ、eスポーツなど多様なスポーツの普及

※eスポーツ

- ・2027年 IOC：第1回「オリンピック・eスポーツゲームズ」を開催予定
- ・2026年 愛知・名古屋アジア大会でeスポーツが正式種目に採用
- ・国スポの文化プログラムとして「都道府県対抗eスポーツ選手権を開催

「スポーツ基本法」の改正（令和7年6月）の概要

<前文>

- ・スポーツの果たす役割に「する」「見る」「支える」に加え、「集まる」「つながる」を追加

<基本理念>

- ・スポーツは、人種、性別、年齢、障害の有無等に関わらず、あらゆる機会等において行うことができるようにする旨を追加
- ・「多様な国民一人一人の生きがい及び幸福の実現等」、「スポーツによる地域振興の推進」、「健康で活力に満ちた長寿社会の実現」、「共生社会の実現」を追加

<基本的施策>

- ・情報通信技術を活用したスポーツ（eスポーツ）の機会の充実
- ・気候変動への対応の留意、スポーツを行う者に対する暴力等の防止、ドーピング防止活動の推進 など

2. 第13次計画の主な取組の進捗状況



○「する・みる・ささえる」スポーツの更なる推進のため、A～Fの6つのリンクのもと、各事業を実施

リンク名	各リンクにおける主な取組と実績	
リンク A 子どもの体育・スポーツ活動の充実と体力の向上	● ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業 体育・スポーツ活動での交流を通じて、広く子供たちにスポーツの楽しさを体験させることを目的として、県内トッププロスポーツ団体に所属する選手、コーチ等を県内の小中学校へ派遣し、スポーツ教室や講演会等を実施。 【R 6 実績：実施校 県内の小学校 1 8 校・中学校 1 校・特別支援学校 1 校】 ● いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施 (R7より『いきいきちばっ子健康・体力づくりプログラム「遊・友スポーツチャレンジちば」』) 6つの運動種目を紹介・取組を推奨して、人間関係の構築と運動習慣の定着を図る。 ランキング1位や取組が積極的な学校を表彰し、成績をHP等で紹介し、参加意欲の向上を図る。 【R 6 実績：協力校 小学校 2 4 0 校・中学校 2 7 校・高等学校 3 校・特別支援学校 1 0 校】 ● 部活動指導員配置事業 部活動に係る技術的な指導に従事する部活動指導員を、希望する中学校へ配置。 【R 6 実績：19市町の公立中学校に125人を配置】	
	● 「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」の実施 総合型地域スポーツクラブとその近隣小学校が連携し、親子を対象とした体験講習会やスポーツ教室等を実施。 【R 6 実績：参加人数 4 0 1 人】 ● 働き盛り・子育て世代のための運動リーフレットの作成・配布 運動・スポーツ習慣の定着と健康増進に向けたリーフレットを作成・配布し、県民が日常生活の中で無理なくできる運動例を、働き盛り世代・子育て世代に向け伝えていく。 【R 6 実績：6 万部作成】 ● スポーツイベント・多様なスポーツ・スポーツ施設等の情報発信 体験会やスポーツイベントなど各種情報について、県民だよりや県公式SNS等で積極的に発信。	

ちば夢チャレンジかなえ隊

2. 第13次計画の主な取組の進捗状況



○「する・みる・ささえる」スポーツの更なる推進のため、A～Fの6つのリンクのもと、各事業を実施

リンク名	各リンクにおける主な取組と実績	
リンク C 誰もがともに楽しめる パラスポーツの推進	● パラアスリート等学校訪問事業 パラスポーツを通じて児童・生徒の障害への理解を深め、障害のある人もない人もお互いを認め合う共生社会の実現を目的として、県内の小中学校にパラアスリート等を派遣し、各種講演や体験会を実施。 【R 6 実績：実施校 県内の小中学校 17 校・特別支援学校 13 校】	 パラアスリート等学校訪問
	● パラスポーツフェスタの開催 パラスポーツを広く県民に周知し、障害のある・なしに関わらず様々な方がパラスポーツを通じて交流し、障害への理解を図るため、パラスポーツの体験会や対抗戦を実施。 【R 6 実績：参加者数 パラスポーツフェスタちば473人、パラスポーツフェスタとうかつ 234人】	
	● 特別支援学校を活用したパラスポーツ普及促進事業 障害のある方が身近な地域でパラスポーツを体験できる機会を提供するため、県立特別支援学校を活用し、パラスポーツ教室を開催。 【R 6 実績：実施校 3 校】	
リンク D スポーツ環境の整備・充実	● 県立学校体育施設開放事業 県民の生涯スポーツの推進及び県内のスポーツの普及・振興を図るため、県立学校の体育施設を開放し、県民に広くスポーツをする機会と場所を提供する。 【R 6 実績：開放校 72 校】	 県総合スポーツセンター体育館 (外観イメージ)
	● 総合スポーツセンター整備事業 県総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地での建替えを行う。（供用開始：令和10年度中（予定）） その他の施設については、安全かつ快適に、一般公衆の利用に供するため、必要な施設整備を計画的に行う。	

2. 第13次計画の主な取組の進捗状況



○「する・みる・ささえる」スポーツの更なる推進のため、A～Fの6つのリンクのもと、各事業を実施

リンク名	各リンクにおける主な取組と実績	
リンク E 競技力の向上とクリーンでフェアなスポーツの推進	● 千葉県競技力向上推進本部事業 本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成する。 〔主な事業〕・国スポ選手強化・サポート事業 ・オリンピックアスリート強化支援事業 ・ちばジュニア強化事業	
	● トップアスリート等活用事業 オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートを講師として体育・スポーツ関係団体の活動に派遣することにより、選手強化事業の成果を地域スポーツに還元するとともに、更なるスポーツの推進を図る。 【R6実績：実施回数27回、講師派遣48名】	トップアスリート等活用事業
リンク F スポーツの価値の発信とスポーツによる地域づくり	● 「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」の実施 子供たちがスポーツ選手への夢や憧れを抱くことができるよう、千葉ロッテマリーンズ、千葉ジェッツ等のトップ・プロスポーツチームと共同で、県内在学の小中高生やその保護者を公式戦へ招待する。 【R6実績：参加人数 116,100人】	
	● ちばアクアラインマラソンの開催 「スポーツの振興」と「千葉県の魅力発信」を2本柱とし、海や里山といった千葉県の持つ多様で豊かな自然や地域の特性等を活かした「海の上を走る」マラソン大会を開催することにより、地域活性化を図る。 【R6実績：参加人数 17,402人】	ちばアクアラインマラソン  アーバンスポーツ体験イベント

3. 第13次計画の主な指標の推移、今後の課題



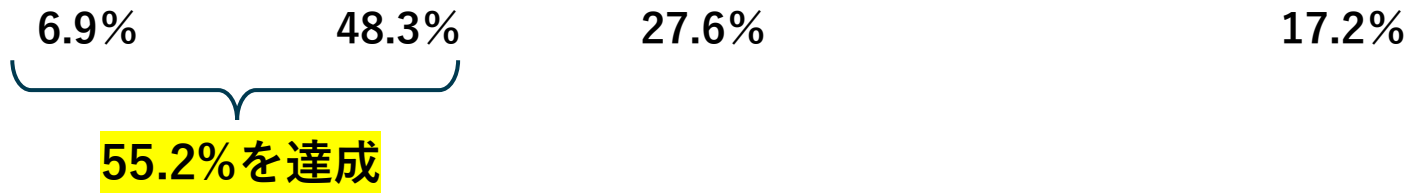
○ 全29指標のうち、A～Fの各リンクにおいて設定した指標の達成状況

【目標達成度】

◎：目標達成 ○：目標を概ね（8割以上）達成 △：目標未達成 R8で評価：目標が「経年増加」等につき計画期間終了時に評価するもの

	◎	○	△	小計	R8で評価	計
リンクA	1	1 0	0	1 1	0	1 1
リンクB	0	0	3	3	1	4
リンクC	1	1	0	2	0	2
リンクD	0	2	3	5	2	7
リンクE	0	1	0	1	1	2
リンクF	0	0	2	2	1	3
合計	2	1 4	8	2 4	5	2 9

(計29指標に
対する達成率)





各リンクにおける 指標の達成状況及び課題等

～計画策定時から令和6年度までの指標の推移～

3. 第13次計画の主な指標の推移、今後の課題

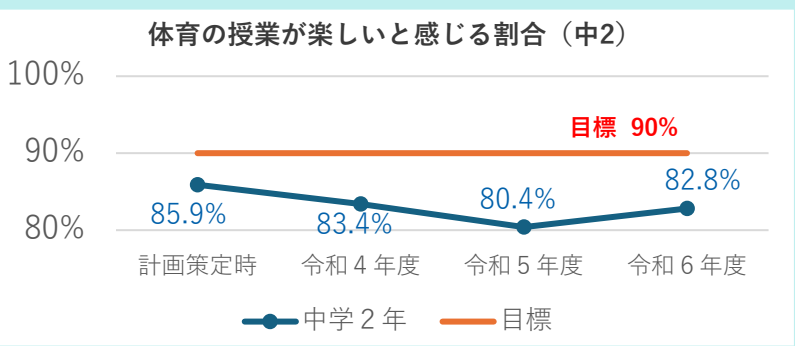
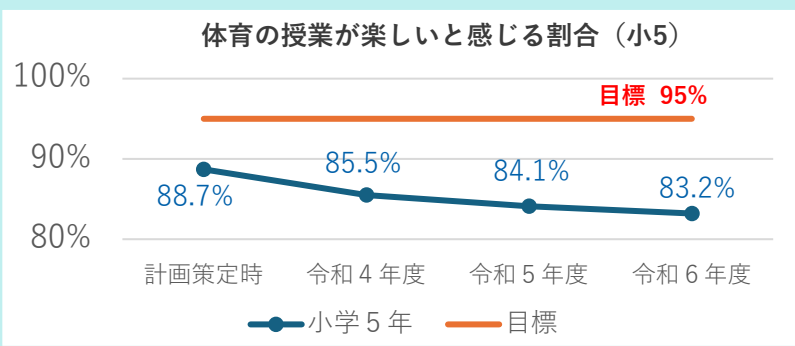


リンクA

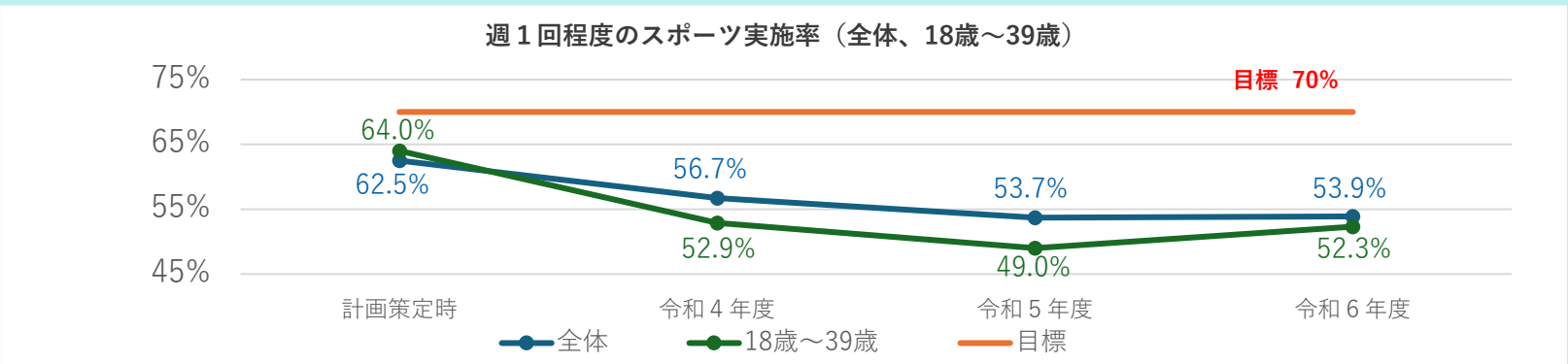
リンクB

指標の達成状況

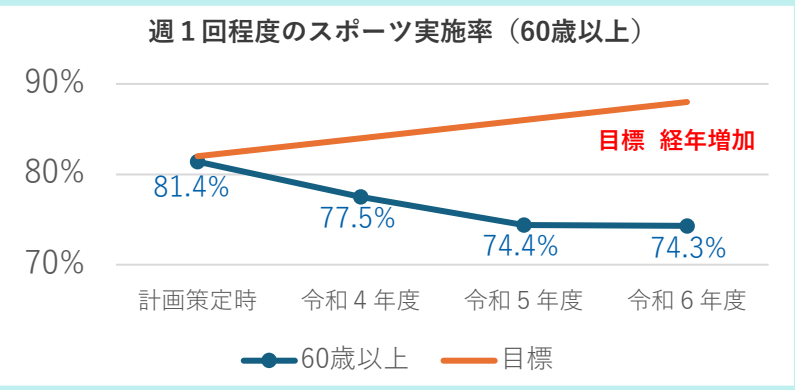
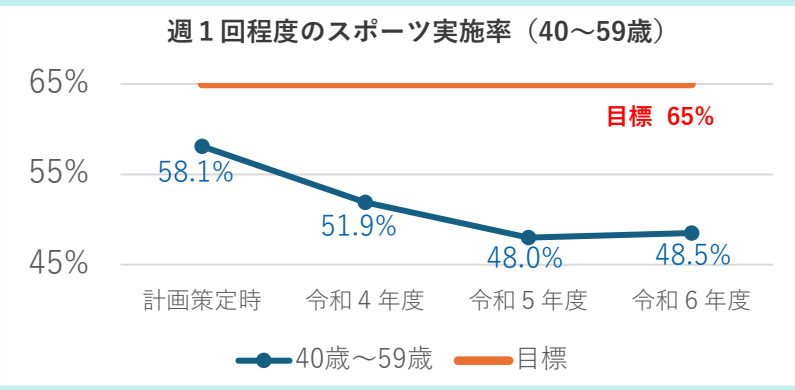
課題等



- 令和6年度の体育の授業が楽しいと感じる割合は小学5年生は目標値95%に対して83.2%、中学2年生は目標値90%に対して82.8%であった。
- R6全国体力運動能力等調査によると運動する子と運動しない子の二極化が進んでいる。
- 児童生徒に成功体験や達成感を味わわせ、運動やスポーツの楽しさや喜びを感じ、主体的に運動に取り組めるようにすることが必要である。



- 令和6年度の週1回程度のスポーツ実施率は、全体は目標値70%に対して53.9%、18歳～39歳は目標値70%に対して52.3%、40歳～59歳は目標値65%に対して48.5%。
- 60歳以上は目標経年増加のところ、初年度の81.4%に対して、令和6年度は74.3%であり、下降傾向にある。
- 全体的に、令和3年度より減少傾向が続いており、これは、新型コロナウイルス感染症の蔓延時に限定的に形成された運動との関わりが、元に戻りつつあることが要因と考えられる。



- 年代別では、男女ともに20代以降から60～64歳の働き世代で低い傾向があり、アンケートでも「仕事や家事等で日常生活が多忙で、時間の確保が難しい」との回答が多い。
- それぞれのライフステージに合わせた運動機会の創出や、日常の中で継続的にスポーツに親しめる環境整備を進めていく必要がある。

3. 第13次計画の主な指標の推移、今後の課題



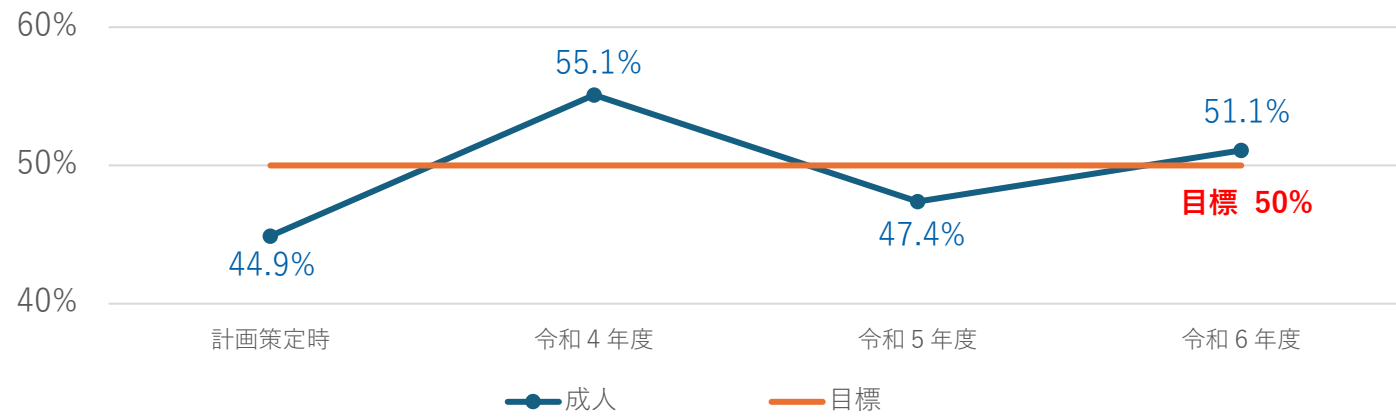
リンクC

リンクD

指標の達成状況

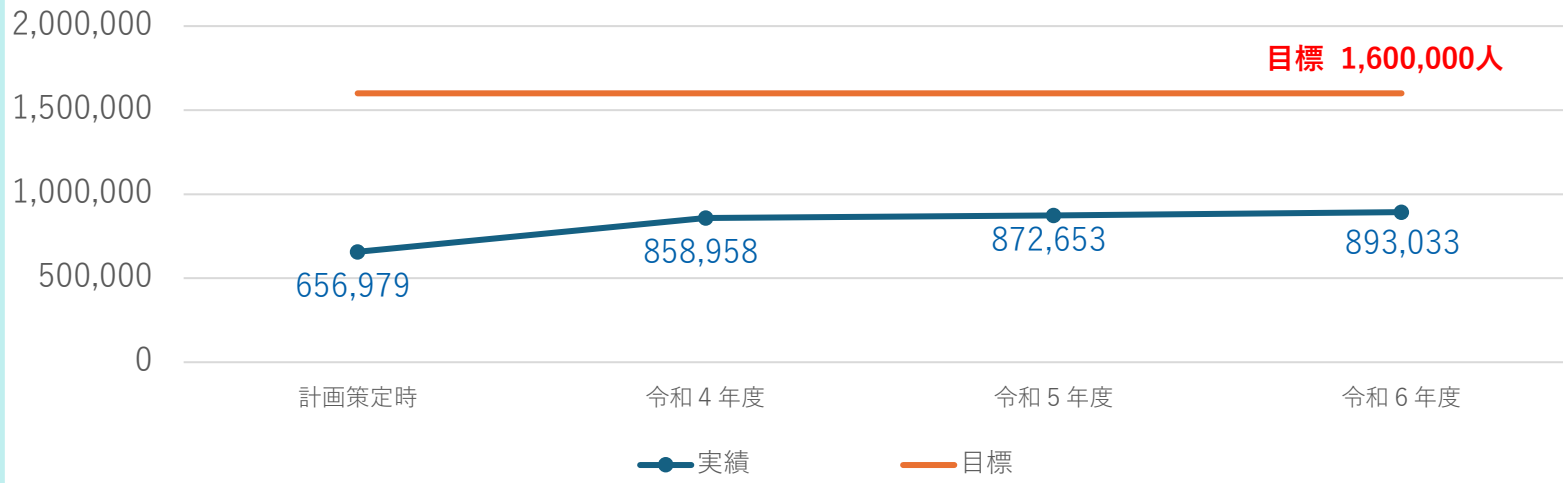
課題等

パラスポーツの観戦・体験率



- 令和6年度のパラスポーツの観戦・体験率は、目標値50%に対して51.1%と指標を達成した。
- 引き続き、障害のある人が生き生きと自分らしくスポーツに参加できる環境や、障害の有無に関わらず、誰もが分け隔てなく、パラスポーツをともに楽しめる環境の整備が必要である。

体育施設年間利用者数



- 令和6年度の体育施設年間利用者数は、目標人数1,600,000人に対して、893,033人であるが、令和3年度からこれまで増加傾向にある。
- 体育施設等の多数の方が集まる施設には、耐震改修と併せて施設全体の長寿命対策が必要である。

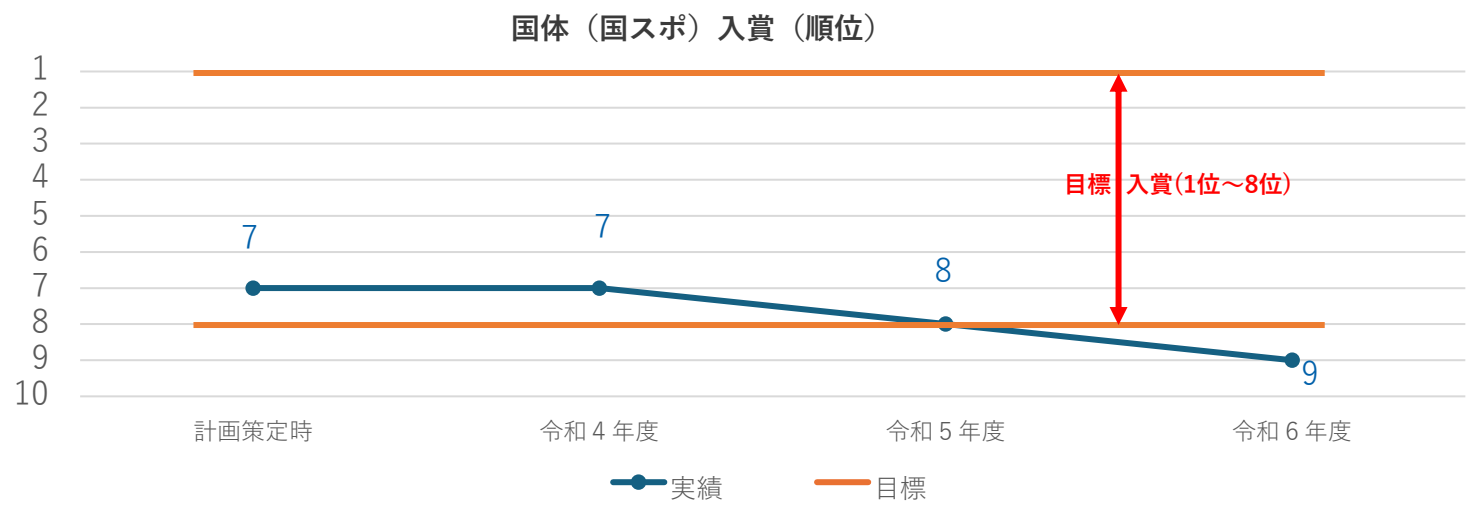
(参考)
目標は、第12次計画の目標と同じ
平成28年度年間利用者数 1,480,135人
令和元年9月～台風15号による被害のため
総合スポーツセンター体育館の利用中止

3. 第13次計画の主な指標の推移、今後の課題



リンクE

指標の達成状況

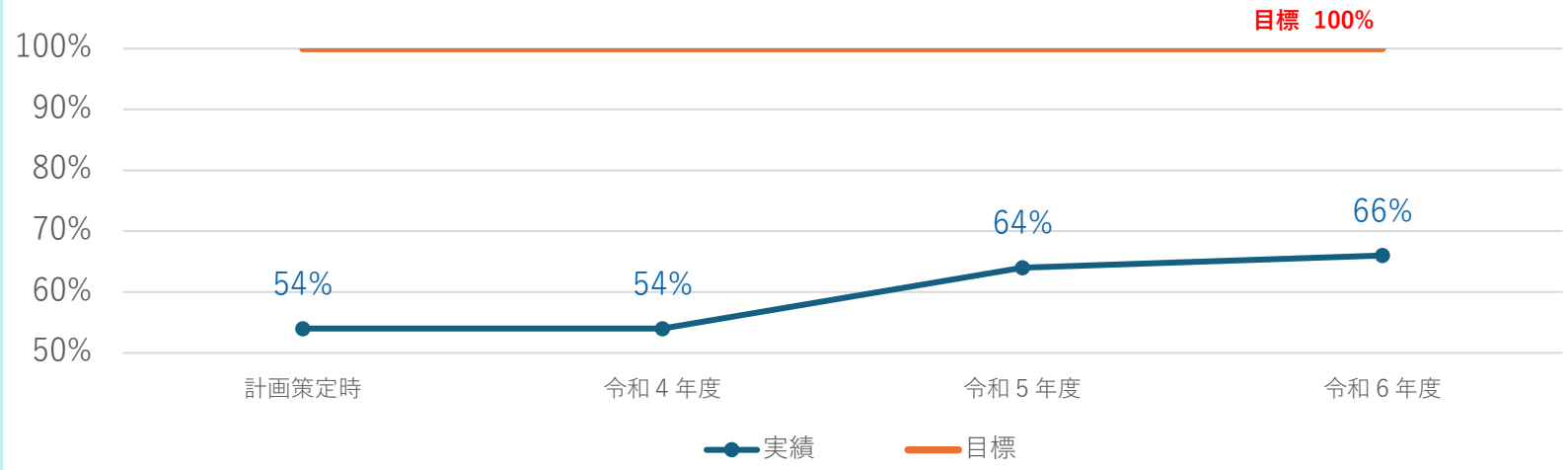


課題等

- 令和6年度の国体（国スポ）順位は、目標入賞（1位～8位）に対して、惜しくも9位であったが、令和5年度までで7大会連続の入賞を果たしている。また、女子総合成績では2年連続の入賞となった。
- 課題と捉えていた成年種別は例年以上の活躍であり、競技力向上の取組は一定の成果を残せている。
- これまでの取組みの成果を引き継ぎ、さらに選手の発掘、育成、強化及び指導者の養成・資質向上に取り組む。

リンクF

トップ・プロチームとの連携事業を実施した市町村の割合



- 令和6年度のトップ・プロチームとの連携事業を実施した市町村の割合は、目標値100%に対して66%であった。
- 本県では、多くのトップ・プロスポーツ団体が活躍しており、トップレベルの技術を間近で見る機会に恵まれていることが強み。
- アスリートとの交流を通じて、スポーツの新たな側面を知り、スポーツへの関心が高まることから、引き続き、トップ・プロスポーツチームと連携し、様々な形で取組を展開していくことが重要である。

4. 計画策定に向けご意見をいただきたい論点

○現計画の策定から3年が経過し、スポーツを取り巻く環境も変化する中、次期計画の策定に向け、下記の論点（スポーツ基本法の改正概要を基に整理）についてご意見をいただきたい。

○次期計画では、スポーツの価値や意義、効果等を踏まえ、スポーツを通じてどのような社会を実現していくかについて、基本理念や目標等に反映していきたい。

（1）次期計画で取り扱うスポーツの範囲

- ・ 現行計画：勝敗や記録を競う競技スポーツや、健康を目的に行われる身近な身体活動などの生涯スポーツだけでなく、散歩やサイクリング、通勤中の一駅歩きなども含める。
- ・ 次期計画：生活活動（日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動）で3メッツ以上のものeスポーツ（身体運動を伴うもの＝バーチャルスポーツ、伴わないもの）を含めるか。

普通歩行、犬の散歩、掃除、自転車、
「速歩き、子どもと活発に遊ぶ」等

（2）スポーツとの関わり方

- ・ 「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」という視点の導入

（3）スポーツの価値や意義について、どのような観点を次期計画に反映させていくべきか

- ・ 現行計画：①健康で活力ある生活の実現、②互いに支え合うコミュニティの形成、③パラスポーツの充実・発展
- ・ 次期計画：（ア）スポーツを通じた多様な県民の一人一人の生きがい及び幸福の実現 = ウェルビーイング
（イ）スポーツによる健康で活力に満ちた長寿社会の実現
（ウ）スポーツによる共生社会の実現
（エ）スポーツによる地域振興の推進

※参考 国のスポーツ審議会（令和7年7月15日）資料から抜粋

＜第3期スポーツ推進計画策定時からの社会の変化＞

少子高齢化の加速やウェルビーイングの考え方の浸透など社会が急速に成熟・変化していることに伴い、スポーツに求められる役割も幅広くなっている。楽しさや喜びといった、「スポーツそのものが有する価値」だけではなく、スポーツを通じて、他の分野に貢献し、地域・経済活性化やつながりの機会を創出する等、様々な社会課題を解決することができる「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」への期待が高まってきている。

5. 計画改定のスケジュール（予定）

令和 7 年度		令和 8 年度		
7 月～ 2 月	3 月	4 月～ 7 月	8 月～ 1 1 月	1 2 月～ 3 月
9 月：スポーツ推進審議会（R7第 1 回） ・ 現計画の点検・評価 ・ 次期計画に向けて委員による協議	3 月：スポーツ推進審議会（R7第 2 回） ・ 現計画の点検・評価 ・ 次期計画の基本方針（案） ・ 次期計画の構成図（案）	7 月：スポーツ推進審議会（R8第 1 回） ・ 現計画の点検・評価 ・ 次期計画の骨子（案）	1 1 月：スポーツ推進審議会（R8第 2 回） ・ 次期計画本文（素案） ・ 次期計画指標（案）	1 2 月：パブリックコメント 2 月：スポーツ推進審議会（R8第 3 回） ・ 現計画の総括 ・ 次期計画本文・指標（案） 3 月：「第14次千葉県体育・スポーツ計画」策定